

公益財団法人愛知県文化振興事業団

令和4年度事業計画

I 令和4年度事業方針

公益財団法人愛知県文化振興事業団は、平成4年4月の設立以来、設立目的である個性豊かな地域文化の振興と世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与するため、各種の文化事業を実施してきました。また、平成26年度からは、愛知芸術文化センター（以下「芸文センター」という。）の指定管理者として、芸文センター全体の施設管理や、愛知県芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）の運営等に携わってきました。

令和3年度も、令和2年度から続くコロナ禍にあって、芸術文化活動は多大な影響を受けることとなり、芸文センターの管理運営や自主事業の実施も、大変難しい状況の中で工夫を重ねながらの事業展開となりました。

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の状況はなお不透明ではありますが、愛知県と密に連携をとりながら、国や県、全国公立文化施設協会などの指針を参考に作成した予防対策に基づき、安全かつ快適な環境づくりとサービスの一層の向上に努め、県民の皆様に安心して芸術文化を楽しんでいただけるよう努めてまいります。

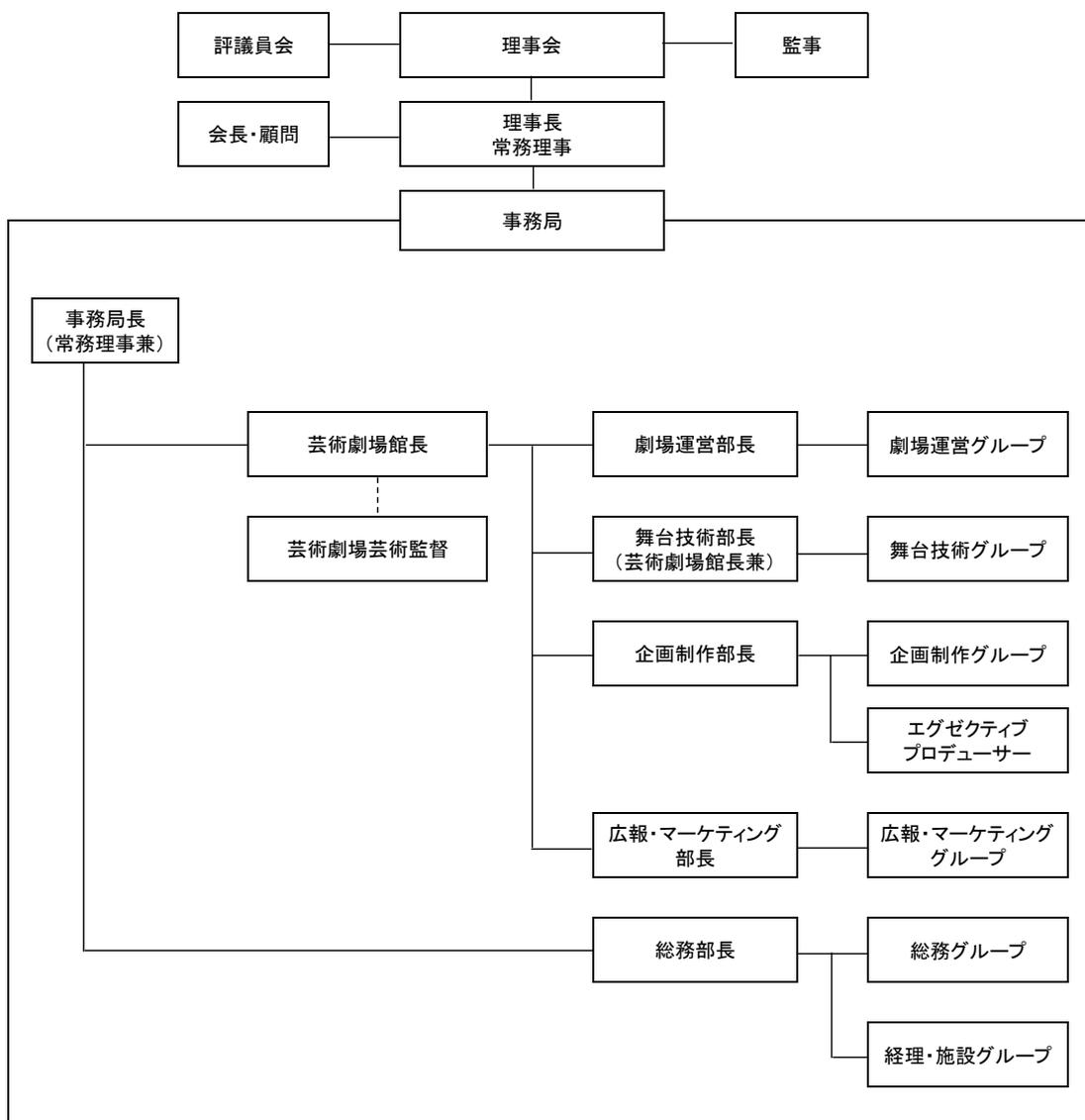
自主事業の展開にあたっては、令和2年4月よりダンサー・振付家・演出家として国際的に活躍し、国内外から高い評価を得ている勅使川原三郎氏を芸術監督としてお迎えしており、さらなる劇場主催事業等の質の向上や世界に向けた情報発信に努めてまいります。

具体的には、「愛知県芸術劇場第2次中長期計画」及び文化庁「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」に採択された「劇場による地域文化向上プロジェクト」に基づき、ホールの特性を活かし、創造性・発信性に満ちた多彩な舞台芸術公演を行うとともに、舞台芸術を担う人材の養成や、「劇場と子ども7万人プロジェクト」として次代を担う子どもたちに劇場の楽しさに触れてもらう普及啓発などに取り組みます。また、市町村劇場との連携による「県内ツアー公演」や、地域の商業施設・観光施設と連携する「久屋ぐるっとアート」などを展開して地域文化の振興を図るほか、障がいのある方や在住外国人など劇場に来場しづらい方向けのワークショップ等を開催するなど、社会課題の解決に向けた取組みも実施いたします。

また、当事業団が実施する自主事業につきましては、地元企業様をはじめ、様々な団体・個人からの御協力をいただいておりますが、令和3年度からは新たに賛助会員制度を立ち上げ、文化振興を通じての地元企業様等とのさらなる関係強化を推進しております。今後とも当制度を継続実施し、関係強化に努めてまいります。

●組織体制

(1) 令和4年度組織体制



(2) 職員数

常勤役員	2名
職員	34名
嘱託員	10名
計	46名

Ⅱ 公益目的事業

芸術文化の振興を図り、心豊かな県民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与する場と機会を提供する事業として、愛知県芸術劇場の管理運営や、舞台芸術公演・人材養成・普及啓発活動を展開します。また、芸文センター全体の広報や劇場のマーケティング活動、催事室（アートのスペース）・アートプラザの管理運営及び愛知県美術館を含む芸文センター全体の施設管理を行います。

1 愛知県芸術劇場の管理運営

愛知県芸術劇場各ホール、各リハーサル室の利用許可や利用打ち合わせ、技術面・安全面・運営面でのサポートなど、公演当日まできめ細やかなサービスを行い、県民の皆様が多彩で質の高い舞台芸術公演を鑑賞する場や創造活動をする場を提供します。

また、その運営にあたっては、観客及び劇場利用者の方々へのホスピタリティ向上に努めます。

感染症対策についても、主催者様からの相談に丁寧に応じ、事前に綿密な打合せを行うことにより、安全に実施していただけるよう努めます。

<愛知県芸術劇場>

- 大ホール（2,480席）
- コンサートホール（1,800席）
- 小ホール（330席（最大））
- 大リハーサル室
- 中リハーサル室

2 自主事業の企画制作

全国16館の文化庁「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」に採択された「劇場による地域文化向上プロジェクト」に基づき、多彩で質の高い舞台芸術公演を県民に提供します。令和3年度に引き続き、夏季や秋季に事業を集中的に開催する「ファミリー・プログラム」「愛知芸文フェス」及び小ホールにおいて先駆的・実験的な作品を通年で上演する「ミニセレ」を柱に自主事業を実施し、愛知県の芸術文化の振興を図っていきます。

また、舞台芸術に関わる人材の養成や舞台芸術への関心を高めるための普及啓発にも引き続き力を入れ、芸術文化のすそ野の拡大を図ります。

さらには、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会（芸団協）からの事業受託により、コロナ禍により影響を受けた地域の文化芸術の振興及び他劇場とのネットワーク機能強化のため、ジャパン・ライブエールプロジェクト@あいち2022を開催いたします。

なお、各事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期するとともに、オンラインによる映像配信などを積極的に活用し、新しい生活様式に十分配慮してまいります。

1 公演事業

各ホールにおいて、主にゴールデンウィークや夏休みに開催する「ファミリー・プログラム」、10月30日の開館記念日前後を中心に開催する「愛知芸文フェス」及び小ホールにおいて開催する先駆的・実験的な「ミニセレ」を柱にラインナップを構成します。音楽、舞踊、演劇を軸に、領域にとらわれないボーダレスな作品にも取り組んでいきます。



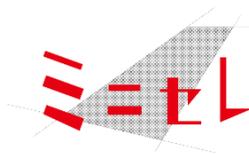
(1)ファミリー・プログラム

主にゴールデンウィークや夏休み期間に開催する、家族のためのフェスティバルです。舞台芸術の持つ様々な魅力を、子どもから大人まで世代を越えて楽しめるプログラムを実施し、劇場全体を楽しくにぎやかな場所にします。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
愛知県芸術劇場 オープンハウス	5月7日(土)	コンサートホール 小ホール
	<p>小さなお子様から大人まで、より多くの方に劇場をより身近に感じていただくためにコンサートホールの舞台や客席、ホワイエ、ビューフェなどを自由に見学いただけるイベントです。スタッフが劇場に関するエピソードを交えながらご案内するバックステージツアー等も開催します。また、同日には小ホールにて当劇場のアーティスト人材養成事業舞台芸術ワークショップファシリテーター・コーディネーター養成プログラム受講者が中心となってナビゲーターを務める音楽をテーマとした参加型イベントを開催します。</p>	
『えんどうまめとおひめさま』 愛知県芸術劇場公演+愛知県内ツアー 製作・出演：ディブウィク・ダンスカンパニー (各市町村劇場と共催)	7月24日(日) ~26日(火) (当劇場(回数未定)) 7月28日(木) ~8月12日(金) (県内ツアー6カ所)	小ホール、 県内劇場
	<p>アンデルセン童話『えんどう豆の上のおひめさま』を下敷きにしたダンス・演劇を横断するパフォーマンス公演です。令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響でやむなく中止しておりましたが、世界で活躍するノルウェーのディブウィク・ダンスカンパニーが当劇場含めて県内7か所で上演します。</p>	
ベビーシアター『よちよちの部屋』 製作・出演：ディブウィク・ダンスカンパニー	8月13日(土) 14日(日) (回数未定)	未定
	<p>『えんどうまめとおひめさま』のカンパニーのレパートリーであるベビーシアター作品『よちよちの部屋』を上演します。生後6か月~2歳くらいまでのよちよち歩きの赤ちゃんと大人と一緒に楽しめる穏やかなダンス作品です。</p>	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
チェコ・アルファ劇場『快傑ゾロ』 演出：トマーシュ・ドヴォジャーク (特定非営利活動法人愛知人形劇センターと共催)	8月16日(火) 17日(水) (回数未定)	小ホール
	チェコの伝統的なマリオネット 40 体以上が繰り広げる生演奏付きの人形劇です。令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響でやむなく中止しておりましたが、これまでに数多くの受賞歴を誇る人形劇場の作品を上演します。	
げきじょうたんけんツアー	8月25日(木) (4回)	コンサートホール、 オンライン
	小学校低学年を対象にして、劇場運営スタッフ扮する探検隊と一緒にコンサートホールの裏側をめぐるツアーを行います。普段は見る事ができない劇場の裏側を見学できる体験学習です。	
THE オルガン NIGHT&DAY 2022 出演：山口綾規 ほか	8月26日(金) 27日(土) (3公演)	コンサートホール
	「短めのプログラム」「出かけやすい時間」「ワンコイン」と“手軽さ”を追求したパイプオルガンコンサートです。終演後、大人向けのNIGHTと小学生を含めた家族向けのDAYではオルガン耳より講座を開催します。	
赤ちゃんと踊ろう（ママ編・パパ編） ファシリテーター：プロジェクト大山	8月6日(土) 7日(日)	中りハーサル室
	赤ちゃんと一緒に踊りながら、パパ・ママ同士も交流もできるダンス・ワークショップを実施します。	
キッズ・ダンスワークショップ ファシリテーター：プロジェクト大山	8月6日(土) 7日(日)	中りハーサル室
	小学生向けのダンス・ワークショップを実施します。	
キッズ・音楽ワークショップ ファシリテーター：八木美知依	8月8日(月) 9日(火)	中りハーサル室
	小学生向けの音楽ワークショップを実施します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
カンパニーXY with ラシッド・ウランタン 『Möbius/メビウス』 演出・振付・出演：カンパニーXY 振付・コラボレーションアーティスト ：ラシッド・ウランタン	10月27日(木) 28日(金) (2公演)	大ホール
	フランスを拠点に世界中で活躍するカンパニーによるノンバーバルな現代サーカスです。フランスの国立劇場のディレクターとのコラボレーションで、19人のチームが、飛んだり、身体をひるがえしたりしながら高度なアクロバットを披露します。	
栄北まちなか展開連携事業 『久屋ぐるっとアート2022』	11月3日(木・祝) ～6日(日)	オアシス21ほか
	オアシス21や名古屋テレビ塔など、栄北地域の約20の文化施設や商業施設等と連携し、アートを気軽に楽しめるミニフェスティバルを開催します。音楽、パフォーマンス、美術、グルメ等を気軽に“ぐるっと”楽しめます。	
【ジャパン・ライブエールプロジェクト@あいち2022】 久屋ぐるっとアート2022 連携事業	11月3日(木・祝) ～6日(日)の期間内	オアシス21ほか
	久屋(栄北)エリアの施設や団体が連携して行う参加型アートイベント『久屋ぐるっとアート2022』と連携し、舞台系イベントを開催します。	
第20回AAF戯曲賞受賞記念公演 『リンチ(戯曲)』 作：羽鳥ヨダ嘉郎 演出：余越保子	11月3日(木・祝) ～6日(日) (回数未定)	小ホール
	第20回AAF戯曲賞受賞作品を上演します。応募総数115作品から、選出された羽鳥ヨダ嘉郎の戯曲を上演します。	
愛知県立芸術大学管弦楽団 第33回定期演奏会 指揮：高関健 管弦楽：愛知県立芸術大学管弦楽団 (愛知県立芸術大学と共催)	11月25日(金) (1公演)	コンサートホール
	東海地方唯一で全国的にも数少ない公立芸術大学のオーケストラによる定期演奏会を開催します。指揮は、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者や仙台フィルハーモニー管弦楽団レジデント・コンダクターを務める高関健です。	
7 事業		



(3)ミニセレ —Mini Theater Selection—

現代音楽、コンテンポラリー・ダンス、演劇など、様々な領域の同時代の作品を上演します。小ホールの特徴を活かして先駆的・実験的な作品を上演することで、新しい芸術や新しい劇場ファン層をさらに広げます。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
Co. Ruri Mito 2022 『ヘッダ・ガーブレル』 出演：三東瑠璃、Co. Ruri Mito (Co. Ruri Mito と共催)	6月30日(木) (回数未定)	小ホール
	近代演劇の父イプセンの名作『ヘッダ・ガーブレル』を、コンテンポラリー・ダンス、音楽、そして森山未来らによる映像により上演します。国内外で多数の賞を受け、フェスティバルに招かれている三東瑠璃が演出・振付を務めます。	
【再掲】 第20回AAF 戯曲賞受賞記念公演 『リンチ（戯曲）』 作：羽鳥ヨダ嘉郎 演出：余越保子	11月3日(木・祝) ～6日(日) (回数未定)	小ホール
ダンス・セレクション2023 出演団体・作品：nouses 『nous』、 橋本ロマンス 『PAN』	2月11日(土・祝) (回数未定)	小ホール
	国内で注目された過去作や、海外で活躍するダンサーの新作など、当劇場のプロデューサーが選り抜いた作品をオムニバス形式で一挙に上演します。	
DaBY ダンスプロジェクト 鈴木竜+大巻伸嗣「雨」（仮） 原案：『雨』（サマーセット・モーム） 振付：鈴木竜 舞台美術：大巻伸嗣 出演：米沢唯（新国立劇場バレエ団プリンシ パル）ほか (ダンス・ベース・ヨコハマと共催)	3月11日(土) 12日(日) (回数未定)	小ホール
	プロフェッショナルなダンス環境の整備とクリエイター養成を行なうダンスハウス「Dance Base Yokohama (DaBY)」との連携プロジェクトです。アソシエイトコレオグラファーの鈴木竜が創る新作等を、当劇場で上演します。	
4事業（うち再掲1事業）		

(4) その他の公演

3つのホール等を活用し、愛知県芸術劇場ならではのダンス公演、オペラ公演などを実施します。

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
モーツァルト作曲 オペラ『バ스티アンとバスティエヌ』 指揮：角田鋼亮 演出：太田麻衣子 管弦楽：愛知室内オーケストラ	6月12日(日) (2公演)	小ホール
	モーツァルトが12才で作曲したオペラです。2018年の公演では、オペラの初心者からコアファンまで多くの方に高評いただきました。指揮は、名古屋市出身の角田鋼亮。出演は、三重県出身のソプラノ歌手、伊藤晴などの実力派ソリスト。歌唱原語上演・日本語字幕付き。	
オルガン・アワー ～音のシャワーで心リフレッシュ～ オルガン：徳岡めぐみ	6月24日(金) (1公演)	コンサートホール
	数々の名曲とともにパイプオルガンの魅力を約1時間でお届けするコンサートです。演奏は、豊田市コンサートホールオルガニストでドイツをはじめヨーロッパ各国でコンサートを行なう徳岡めぐみが務めます。	
Noism×鼓童 『鬼』 同時上演：ディアギレフ生誕150周年『結婚』 (りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館、ロームシアター京都、荘銀タクト鶴岡と共同制作)	7月23日(土) (1公演)	大ホール
	りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館の専属舞踊団「Noism Company Niigata」と佐渡を拠点に活動する太鼓芸能集団「鼓童」の初共演です。現代音楽の第一人者である原田敬子が作曲した音楽をもとに、ダンスと伝統芸能がコラボレーションします。	
勅使川原三郎 ライヴミュージック&ダンス 『天上の庭』 演出・照明・衣装・選曲：勅使川原三郎 出演：勅使川原三郎、佐東利穂子 ほか	9月16日(金) 17日(土) (2公演)	コンサートホール
	世界トップクラスの「ダンス」と「音楽」を、同時にコンサートホールでお楽しみいただけるシリーズです。当劇場芸術監督の勅使川原三郎が演出・照明・衣装・選曲を務め、世界的な音楽家とコラボレーションした作品を上演します。	
【ジャパン・ライブエールプロジェクト@あいち2022】 演劇巡回プロジェクト(仮称) 出演：劇団うりんこ (各劇場と共催)	7～9月頃	愛知・岐阜・三重県内の劇場等
	0～24か月の子どもとその家族のための無言語パフォーマンスを、愛知・岐阜・三重県内の劇場と連携して開催します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
クリスマスはオルガンだ！2022 オルガン：都築由理江 （愛知県芸術劇場オルガニスト）	12月23日（金） 24日（土） （2公演）	コンサートホール
	恒例のクリスマス・オルガンコンサート。この時期に合った曲目や、演奏者の手元や足を大型スクリーンに投影する演出が人気を集めています。当劇場オルガニストの都築由理江が演奏します。	
オイリー・カート 『Jamboree』 愛知県芸術劇場公演＋愛知県内公演 出演：オイリー・カート （各市町村劇場と共催）	1月19日（木） ～22日（日） （当劇場（回数未定））	小ホール、県内劇場
	イギリスで30年以上にわたり活動する劇団の招へい公演です。劇団が長年培ってきたバリアフリーのノウハウを活かして、障がいの有無にかかわらず一緒に楽しめる体験型のパフォーマンスを当劇場含めて県内3か所で披露します。	
藤原歌劇団公演 プッチーニ作曲 オペラ『トスカ』 指揮：鈴木恵里奈 演出：松本重孝 出演：小林厚子、澤崎一了、折江忠道、伊藤貴之、ほか 管弦楽：セントラル愛知交響楽団 （公益財団法人日本オペラ振興会と共催）	2月4日（土） （1公演）	大ホール
	日本で最も歴史のあるオペラ団体、藤原歌劇団の愛知公演です。イタリアの後期ロマン派の作曲家プッチーニの三大傑作のひとつと言われるオペラを上演します。「妙なる調和」や「星は光りぬ」などの名曲揃いのアリアと劇的な物語が特徴です。指揮は鈴木恵里奈、演出は松本重孝が務めます。	
NHK 交響楽団定期演奏会 （愛知県芸術劇場シリーズ） 指揮：ヤクブ・フルシャ 管弦楽：NHK 交響楽団 （NHK 名古屋放送局と共催予定）	2月19日（日） （1公演）	コンサートホール
	90年以上の歴史を誇り、全国各地で年間に約120回の公演を行なう日本を代表するオーケストラの定期演奏会です。世界一流の指揮者と共演する世界が認めるサウンドを披露します。	
全国共同制作オペラ 『カヴァレリア・ルスティカーナ』 & 『道化師』 （東京都歴史文化財団（東京芸術劇場）などと共同制作）	3月3日（金） 5日（日） （2公演）	大ホール
	全国の大規模劇場が共同で制作するオペラ公演です。イタリアの作曲家マスカーニが作曲した「田舎の騎士道」という意味の『カヴァレリア・ルスティカーナ』と、レオンカヴァッロ作曲で、人々の日常生活を描きながら感情表現に重きを置いたヴェリズモ・オペラの代表作『道化師』を上演します。	

事業名	開催日（公演数）	会場
	事業概要	
オルガン・レクチャーコンサート オルガン・解説：三浦はつみ	3月24日（金） （1公演）	コンサートホール
	映像と解説を交えたオルガンをより知りたい人向けのコンサートです。毎回、青少年から大人まで、多くの方から好評をいただいています。演奏とスクリーンを使った分かり易い解説で、オルガン初級者の方もお楽しみいただけます。	
10 事業		

2 人材養成事業

若手芸術家に活動・発表の場を提供するほか、地域の劇場や大学等と連携して、学生インターンシップからアーティスト養成まで様々なプログラムを実施し、舞台芸術を担う人材を養成します。

事業名	開催日	会場
	事業概要	
愛公文セミナー （愛知県公立文化施設協議会と共催）	5月17日（火） 7月8日（金） 8月18日（木） （3回）	アート スペース A
	ホール新任職員向けのセミナーを愛知県公立文化施設協議会と共催で開催します。	
第22回AAF戯曲賞募集・選考	募集開始：6月 最終審査会：12月（予定）	アート スペース A
	2000年から続く「上演を前提とした戯曲賞」です。大賞受賞作品は、次年度以降に当劇場のプロデュース公演として上演します。	
アーティスト人材養成事業	①合唱団養成プログラム 愛知県芸術劇場合唱団訓練	通年実施
	②オルガニスト養成プログラム （短期・長期）	アーティスト人材養成のための講座やワークショップを実施します。
	③振付家・ダンサー養成プログラム	
	④舞台芸術ワークショップファシリテーター養成プログラム	
舞台芸術人材養成ラボ	①舞台芸術インターンシップ	通年実施
	②学生インターンシップ & 舞台芸術お仕事ナビ	人材養成プログラムを系統立てて実施します。
	③劇場職員セミナー	
	④舞台芸術創造セミナー	
	⑤舞台芸術ワークショップコーディネーターセミナー	
11 事業		

3 普及啓発事業

次代を担う子どもたちを劇場に招待し、舞台芸術の魅力や劇場の楽しさに触れてもらう「劇場と子ども7万人プロジェクト」として、学校招待公演等を他市町村・劇場との連携で実施します。また、普及啓発事業を系統立てて実施し、劇場に来づらい方への取組み等も実施します。

事業名		開催日	会場
		事業概要	
【再掲】 愛知県芸術劇場 オープンハウス		5月7日(土)	コンサートホール
劇場と子ども7万人プロジェクト	愛知県芸術劇場オペラ鑑賞教室 2022 モーツァルト作曲 オペラ『バ스티アンとバスティエンヌ』 指揮：角田鋼亮 出演：太田麻衣子 管弦楽：愛知室内オーケストラ (碧南市教育委員会などと共催)	6月17日(金) (2公演)	碧南市芸術文化ホール エメラルドホール
	オペラの公演に、碧南市内の中中学生を招待します。音楽に加え演劇、美術、衣裳、照明などの要素が詰まった総合芸術と呼ばれるオペラ公演を通して、感受性や想像力の育成につなげます。		
	愛知県芸術劇場舞台芸術鑑賞教室 2022 オルガン・メモリアルコンサート ラヴェル『展覧会の絵』初演 100周年記念 オルガン：廣江理枝	9月28日(水) (2公演)	コンサートホール
愛知県芸術劇場舞台芸術鑑賞教室 2022 カンパニーXY with ラシッド・ウランタン 『Möbius/メビウス』 演出・振付・出演：カンパニーXY 振付・コラボレーションアーティスト ：ラシッド・ウランタン		10月28日(金) (1公演)	大ホール
ダイナミックさとしなやかな動きを兼ね備えたフランス発の現代サーカスに県内の小学生を招待します。人が重なって塔になったり、アクロバットなジャンプで宙を舞ったりすることから「アートとスポーツの間」と評されています。身体の可能性や表現することの面白さを知るきっかけになる公演です。			
【高校生 ゲネプロ招待】 ①第20回AAF 戯曲賞受賞記念公演 『リンチ(戯曲)』 ②藤原歌劇団公演 プッチーニ作曲 オペラ『トスカ』		各公演日の前日など	小ホール/大ホール
		舞台鑑賞の楽しみや創造することの面白さを知っていただくために、ゲネプロ(本番直前の最終リハーサル)に、高校生を無料で招待します。	

事業名	開催日	会場
	事業概要	
【乳幼児と保護者のためのプログラム】 ワークショップ「赤ちゃんと一緒にダンス！」 (仮称) (愛知県他と共催予定)	時期未定	未定
	小さなお子様と一緒にダンスを楽しむ機会を市町村劇場等と連携して設けます。	
【入門者のためのプログラム】 愛知県図書館での講座、エンゲキカフェ、 ダンスワークショップ ほか (愛知県図書館他と共催予定)	通年実施	愛知県図書館 ほか
	初めて劇場に来る方にも舞台芸術に楽しみを見出していただけの講座等を開催します。	
【より深く楽しみたいファンを増やすためのプログラム】 鑑賞&レビュー講座、オンライン連続講座(仮称) ほか	通年実施	オンラインほか
	舞台芸術について理解を深め、より楽しんでいただける講座等を開催します。	
【障がい者及び劇場に来づらい人のためのサポート】 聴覚障がいのある方への日本語字幕 ヒアリンググループ設置 視覚障がいのある方へのプログラムの事前PDF 配布 ほか	各公演日	各ホールほか
	多くのお客様に舞台芸術を楽しんでいただけるよう、一部の公演で、障がいのある方を対象に観劇・鑑賞のためのサポートを行います。	
【在住外国人のためのプログラム】 ワークショップ「赤ちゃんと一緒にダンス！」 (仮称) 演劇によるタウンミーティング(仮称) (愛知県他と共催予定)	時期未定	未定
	日本語を母語としない人にも舞台芸術を楽しみ、舞台芸術の力を通じて交流を深めていただくために、赤ちゃんと一緒に楽しめるワークショップ等を開催します。	
10 事業 (うち再掲 1 事業)		

3 愛知芸術文化センターの管理運営等

指定管理者として、芸文センター全体の広報や劇場のマーケティング活動、アートプラザやアートスペースの運営、愛知県美術館を含む芸文センター全体の施設管理を行うことにより、県民の皆様が楽しく身近に芸術文化に触れ、また発信できる場と機会を提供します。

また、利用者の安全確保を第一に考えた防火・防災体制の強化や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策など、安心して利用していただける施設環境の整備にも努めます。

1 広報・マーケティング

(1) 広報

芸文センターが実施する芸術文化事業を中心に、情報誌「AAC」やウェブサイト、SNSなどの各種媒体を通じて、芸術文化に関連する情報を提供します。

○ 情報誌「AAC」の発行

芸文センターが実施する芸術文化事業の紹介や地域の芸術文化に関する情報等を掲載した情報誌を発行し、芸文センターの認知度・理解度の向上を図ります。

配布先：県内外の劇場・ホール、美術館、図書館、その他公共施設、民間商業施設等
年4回発行（ウェブ版を含む）

○ 情報発信

ウェブサイトをはじめとして、Facebook・TwitterなどのSNS、YouTubeといった各種の媒体や仕組みの特性を生かし、劇場主催公演をはじめとした各イベントの情報を分かりやすくタイムリーに提供します。また、中部芸術文化記者クラブの事務局を担い、県内外の美術館等の情報発信を支援します。

(2) 販売促進

愛知県芸術劇場主催公演等について、オンラインチケットシステムや充実した特典を備えた会員制度の「愛知県芸術劇場メンバーズ」により、利便性の向上や収益の増加を図ります。

(3) 調査・研究

劇場及びアートスペース利用者を対象とした満足度調査を実施し、ハード・ソフト両面における劇場等のニーズや課題を把握し、施設利用サービスのさらなる改善に努めます。また、自主事業の際には来場者アンケートを実施し、事業に対する評価や来場者属性を把握・分析し、自主事業の企画制作に反映させていきます。

(4) 賛助会員制度

愛知県芸術劇場主催公演等について支援をいただくことにより、地域の企業等との関係を強化するとともに圏域の文化芸術のさらなる創造・発信につなげるため、ホームページ・パンフレット等を通じて賛助会員数の拡大を図ってまいります。

(5) 芸文センター全体の活性化

「愛知県芸術劇場オープンハウス」や「久屋ぐるっとアート」など、芸文センターのにぎわいを創出する事業を展開し、芸文センターの利用促進につなげてまいります。また、地下連絡通路など共有スペースに壁面広告等を掲出し、芸文センターの活性化を図ってまいります。

2 アートプラザの運営

芸文センター地下2階のアートプラザにおいて、県内外の公演や展覧会等の情報を収集し、来館者に提供します。年齢に関わらず気軽に立ち寄っていただけるよう、丁寧なコミュニケーションに努めます。

3 アートスペースの運営

芸文センター12階及び地下2階のアートスペースについて、利用許可及び利用当日のサポート等を行います。様々な芸術文化活動の表現・交流の場として快適に利用していただけるよう努めます。

4 施設管理・防災

施設の保守・維持管理については、事故の未然防止が最大の安全対策であるという考え方のもと、職員や委託業者による日常点検や各種設備の保守点検を計画的に行います。芸文センター全体の警備や清掃、空調管理など、安全かつ快適な場所を提供するために必要な業務についても、委託業者と連携を密にしながら適切に実施し、利用者からのご要望にも丁寧に対応します。

防火・防災体制については、消防法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、引き続き防災プロジェクトチームによる組織横断的な活動を行うなど、職員の災害対応に係る意識、能力の継続的な向上を図ります。また、都市再生特別措置法に基づき、名古屋駅周辺・伏見・栄地域都市再生緊急整備協議会が令和4年3月に策定予定の「第1次伏見・栄地区都市再生安全確保計画」において、当センターを大規模な地震が発生した場合の一時退避場所及び退避施設として登録することとします。本計画の取組みによって、地域の防災活動の円滑化に貢献してまいります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止については、アルコール消毒剤の設置やマスク着用徹底の呼びかけ、清掃や換気の強化、サーモグラフィーカメラによる体温測定、お客様間のソーシャルディスタンスの確保等、感染症対策に努めてまいります。

5 他団体との連携・交流

(1) 海外芸術交流事業

「AAPPAC」（アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟）に引き続き加盟し、海外の劇場関係者との情報交換や人的交流、及び芸文センターの認知度向上を図ります。

(2) 圏域の公立文化施設とのつながり

全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修等を開催します。こうした人材養成の取り組みを足がかりに、愛知県内の劇場の強いネットワークを活かし、連携公演の実施や人材養成セミナーの開催など、様々な形での劇場間の連携を深めていきます。

(3) 職員の派遣

市町村や大学、他団体等に専門性の高い職員を派遣し、文化振興プランの策定や劇場運営等のアドバイスを実施します。

Ⅲ 収益事業

公益事業に資するため、複合施設の特性を活かした収益事業を行います。

1 ミュージアムショップ（芸文センター10階）

美術館企画展やコレクション展の内容に合わせ、図録・絵はがき・オリジナルグッズ等の販売を行います。

2 アートショップ（芸文センター地下2階）

芸術関連の書籍やグッズなど文化芸術に関連する商品の販売を行います。

3 プレイガイド

芸文センター地下2階アートプラザ内に設置されているプレイガイドにおいて、愛知県芸術劇場の主催公演をはじめ、近隣の劇場・音楽堂等で行われる各種公演・美術展などのチケット販売を行います。